

見崎中学校だより

露路

校訓 「自主創造」「着実勤勉」「融和協同」
学校教育目標

- 『ふるさとのよさを実感するとともに
自らよりよい社会の形成に貢献する子どもの育成』
- ・問題を発見し、その解決に自ら関わる子ども
 - ・自分の考えが相手に伝わるように工夫して表現する子ども
 - ・互いの違いを認め合い、良好な人間関係を築く子ども

令和2年
11月24日
第9号
編集責任
永溝 弘幸

健闘 八女地区駅伝大会 祝 4区区間賞 さん 10' 49''

11月12日(木)に県営筑後広域公園で八女地区駅伝大会が行われました。本校から男子3チーム(3,12km6区間)、女子2チーム(1,96km5区間)が出場しました。9月から早朝練習を積み重ね、これまで一緒に練習してきた仲間の頑張りを一本の襷(タスキ)につなぐという、駅伝ならではの「やりがい」と「プレッシャー」を直に感じる貴重な体験になったと思います。特に、この時期まで早朝練習に取り組んだ3年生(男子11名、女子5名)には拍手を送ります。これまで練習を積み重ねてきた自分自身に自信と誇りをもってほしいと思います。この経験は、必ずこれからの受験勉強や高校生活に活かされると思います。



南筑後中学生英語スピーチコンテストに出場しました!

11月7日(土)まいピア高田で英語スピーチコンテストが開催されました。南筑後地区の中学校から課題の部(暗唱)に12名、自由の部(スピーチ)に10名が参加し、本校からは課題の部に1年生の さん、自由の部に2年生の さんが出場しました。このスピーチコンテストは、「英語のみを用いた暗唱やスピーチを他校生徒と発表し合うことにより、英語のコミュニケーション能力を育成するとともに、更に英語力を伸ばしたいという意欲を高める」ことを目的にしています。

課題の部は「Red Demon and Blue Demon」の暗唱でした。暗記した英文をステージで発表するだけでも緊張するなか、 さんは身振り手振りを交えて堂々としかも心情を込めて発表することができていました。自由の部の さんのスピーチのタイトルは、「The Same lives」で、自分の体験をもとにした『動物愛護』に関する



令和2年度 重点目標

『授業や行事などで、自分の考えをもちそれを表現できる生徒の育成』



る発表でした。自分で作成したプレゼンテーション用のスライドを使って、きれいな発音で流暢に自分の考えを主張することができていました。自分の興味があることや好きなことなどに積極的に挑戦することはとても素晴らしいことです。そこからまた新たな気づきや学びが生まれ深まっています。

「空き缶・空きびん 回収キャンペーン」に参加しました。

本校では、今年から「見崎中学校区地域学校協働活動」に取り組んでいます。地域学校協働活動とは、

地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、協働活動を通じて地域の課題解決や活性化を図る。

というものです。

今年度は、地域と学校をつなぐ活動推進員として さん（井延）のお力をお借りして取り組んでいます。具体的な活動としては、3年生の放課後学習（6月下旬ころから、週に1回程度、8名の地域のボランティアの方々に、数学を中心に勉強会を実施していただいています。3年生の希望者が参加）や、今後3年生の入試対策（面接練習等）も実施していただく予定です。

中学生が地域に貢献する活動として、10月3日（土）に行われた両小学校の運動会のお手伝いに、1年生が8名ボランティアとして参加しました。また、11月15日（日）に行われた「空き缶回収」には行政区ごとに総勢参加53名もの生徒が参加しました。小学校の校長先生や行政区長さん方から、「中学生が手伝ってくれて助かった。ありがたい。」ととても好評でした。『地域の行事等に参加する中学生』の活動をこれからも継続・発展していきたいと考えています。



- ・今日は空き缶拾いでした。地域の人とも楽しくできたのでよかった。
- ・今日は地域のボランティアに参加した。中学生になって地域の人との交流が減っていた。久しぶりに顔を出し、地域のために頑張れたのでよかった。
- ・今日はあきかん回収がありました。結構ゴミがあったので驚きました。
- ・今日は地域の人たちとボランティアでした。協力してゴミ拾いをしました。楽しかったです。
- ・今日は空き缶拾いをして、少し地域に貢献できたかな？
- ・今日は空き缶拾いがありました。少しきれいになってうれしいです。
- ・ボランティアすることは気持ちがいいことだと思った。